

事業報告書（概要）

1. 法人の概要

(1) 建学の精神

西鉄学園は日本の経済成長が始まった昭和37年に、来るべき自動車社会を支えていく人材を育成することを目的に学校法人西鉄自動車学校を設立し、運転の教習を行う教習部門と自動車の構造・整備を教育する整備部門の2部門を備えた学校として誕生しました。その後経済の成熟化に伴う人々の生活水準の向上による、旅行や観光に関わるサービスの高度化が求められる時代の到来に対応し、当学園は平成4年に法人名を学校法人西鉄学園に改め、時代の要請に応える新たな学校として平成6年に国際ビジネスカレッジを開校し3校を擁する現在の姿になりました。

自動車学校は運転免許取得のための教習のほか地域の交通安全に寄与する活動を行い、2校の専門学校は、2級自動車整備士養成ならびに観光業界等に寄与する専門士（商業実務専門課程）養成を行っております。

(2) 学校法人の沿革

昭和37年 2月	学校法人西鉄自動車学校設置認可
昭和37年 4月	西鉄自動車学校および自動車整備科（3級整備士養成指定校）開校
昭和37年 11月	指定自動車教習所として指定（大型自動車）を受ける 以降 指定教習車種を追加
昭和39年 3月	第一種自動車整備士養成施設指定校として認可を受ける
昭和52年 5月	自動車整備士養成施設（第一種）の変更 3級自動車整備士養成課程を2級自動車整備士養成課程へ
昭和52年 12月	私立専修学校西鉄自動車整備専門学校設置認可
昭和53年 4月	西鉄自動車整備専門学校 開校
平成 4年 11月	学校法人の名称を西鉄学園に変更
平成 6年 3月	私立専修学校専門学校国際ビジネスカレッジ設置認可
平成 6年 4月	専門学校国際ビジネスカレッジ開校
平成12年 4月	専門学校国際ビジネスカレッジを専門学校西鉄国際ビジネスカレッジに 名称変更

(3) 設置する学校・学科（令和6年5月1日現在）

学校名	開校年月	学科名	
西鉄自動車学校	昭和37年4月	—	
西鉄自動車整備専門学校	昭和37年4月	工業専門課程 職業実践専門課程 (留学生自動車整備士コース除く)	自動車整備科 留学生自動車整備士コース
専門学校西鉄国際 ビジネスカレッジ	平成 6年4月	商業実務専門課程 職業実践専門課程 (ホテル3年グローバルコース、国際ホテルマネジメント科・ITビジネス科・夜間総合観光科除く)	ホテル・ブライダル科 〃 ホテル3年グローバルコース 鉄道科 エアライン科 国際ビジネス科 国際ホテルマネジメント科 ITビジネス科 夜間総合観光科

(4) 学校・学科の学生数（令和6年5月1日現在）

(単位：人)

学校名	学科名	入学定員	現員数
西鉄自動車学校	—	—	406
西鉄自動車整備専門学校	自動車整備科	35	68
	留学生自動車整備士コース	35	95
専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ	ホテル・ブライダル科	40	71
	ホテル・ブライダル科 ホテル3年グローバルコース	10	3
	鉄道科	35	41
	エアライン科	55	88
	国際ビジネス科	30	39
	国際ホテルマネジメント科	30	48
	ITビジネス科	30	2
	夜間総合観光科	10	10
合 計		310	871

(注)1 現員数は1～3学年の合計

(注)2 海外実習生は含まない

(5) 役員の概要（令和7年5月1日現在）

区分	氏名	摘要
理 事 長	戸田康一郎	令和7年3月理事長就任
常 務 理 事	相田 安浩	令和3年4月常務理事就任 (西鉄自動車学校校長)
理 事	椎葉小夜子	平成24年6月理事就任 (専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ校長) (西鉄自動車整備専門学校校長)
理 事	野口 英明	令和4年4月理事就任
理 事	小宮 章敬	令和3年4月理事就任
理 事	古賀 貢照	令和6年4月理事就任
理 事	有働 祐一	令和7年3月理事就任
理 事	宮原 大樹	令和6年4月理事就任
監 事	馬場 宏明	令和3年4月監事就任
監 事	奥村 洋介	令和4年4月監事就任

(注)役員の定員数は理事6名以上8名以内、監事2名

(6) 教職員の概要（令和6年5月1日現在）

(単位：人)

区分		法人本部	西鉄 自動車学校	西鉄 自動車整備 専門学校	専門学校 西鉄国際 ビジネスカレッジ	計
教 員	本務		31	9	19	59
	兼務		5	2	28	35
職 員	本務	4	8	2	5	19
	兼務	1	6	1		8
計		5	50	14	52	121

2. 事業の概要

(1) 事業の概要

西鉄学園として学校を経営する上では「18歳人口の減少」は引き続き対応すべき大きな課題です。さらに、進学に対する考え方の変化なども加わりますますます厳しい事業環境となっています。

そのような状況の中、学校としての目的や社会的な使命を果たすために、引き続き質の高い教育を行うと同時に、変化する教育ニーズを的確に捉え、教育内容の見直しとさらなる質の向上を図り、多くの学生や教習生に魅力ある学校として選択してもらえるよう努めてまいります。

(2) 主な事業の目的・計画およびその進捗状況

<西鉄自動車学校>

西鉄自動車学校においては、少子化に伴う18歳人口の減少や若者の車離れにより、収益の主力である普通一種免許の需要減が予想されますが、普通一種免許を始め、大型一種や普通二種など他の車種においても、当校の強みや魅力を積極的にPRするとともに、教習指導のレベルアップと教習生のニーズや社会の需要を捉えた取り組みを実施することで、当校を選択、入校してもらえるように努めてまいります。

一方で、高齢者への講習や、一般企業の安全意識への高まりに対する安全運転研修につきましても、継続して積極的に取り組むことで、安定的な収益の確保に努めてまいります。

<西鉄自動車整備専門学校>

西鉄自動車整備専門学校においては、優秀な整備士育成の一環として、企業と共同で最新技術の習得や顧客対応等の研修を実施し、専門知識や技術のみならずヒューマンスキルを向上させる取り組みを行いました。教員に対しても、指導力の向上を目的とした技術研修にも力を入れ、指導力を高めています。

近年は留学生数も増加しており、「多様な価値観を理解し、尊重しあいながら共通の目的に向かって共に成長する」ことに主眼を置いた教育で豊かな人間性を育み、多様化する社会に貢献できる人材の育成にも努めています。目標に掲げた「受験者全員の国家資格取得」並びに「就職率100%」は、達成することができました。特に留学生の功績は顕著で、国家資格取得においては2007年度の受験開始から本年度に至るまで合格率100%を維持し、就職においても整備業界への就職率100%を維持しています。

さらに、地域社会との連携も推進し、児童や生徒に自動車整備士の仕事に興味関心を高めてもらうための取り組みとして、小学校や中学校にて職業教育を実施しました。今後も業界に貢献できる人材の輩出はもとより、地域社会に根差し、より一層信頼度を高めて一番目に選ばれる学校を目指します。

<専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ>

西鉄国際ビジネスカレッジにおいては、デジタル人材需要の高まりに対応すべく、ITビジネス科を開講しました。また、教育DXを推進し、教育データを活用した教育の質向上や学生の特性や学習進度に応じた個別最適化された学びの実現のための環境整備に取り組むとともに、デジタルツールを利用した校務の効率化も図っています。

教育の質向上に資するため、学科ごとの自己点検評価結果を基に学校全体の自己点検評価や学校関係者評価を行い、課題の解決や授業改善に企業と連携して取り組んでいます。さらに、教員の資質向上として授業アンケートを各教員へフィードバックして課題の解決や改善を図るとともに、教員個々に応じた研修の実施によるスキルアップも図っています。加えて、学生満足度調査の結果を非常勤講師を含めた全教職員で共有し、学生支援の強化も継続しています。今後も引き続き信頼される学校運営に尽力いたします。

資金収支計算書（要約）

令和 6年 4月 1日 から

令和 7年 3月31日 まで

（単位：千円）

収入の部	
科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	959,414
手数料収入等	65,739
付随事業・収益事業収入	83,630
受取利息・配当金収入	1,038
雑収入	5,588
前受金等収入	283,972
その他の収入	455,037
資金収入調整勘定	△286,723
前年度繰越支払資金	1,324,183
収入の部合計	2,891,880

支出の部	
科 目	金 額
人件費支出	491,374
経費支出	528,830
施設関係支出	42,709
設備関係支出	13,071
その他の支出	553,717
資金支出調整勘定	△88,198
翌年度繰越支払資金	1,350,376
支出の部合計	2,891,880

事業活動収支計算書（要約）

令和 6年 4月 1日 から

令和 7年 3月31日 まで

（単位：千円）

教育活動収支	事業活動収入の部	科 目	金 額
		学生生徒等納付金	959,414
		手数料等	65,603
		付随事業収入	83,630
		雑収入	5,588
		教育活動収入計	1,114,236
	事業活動支出の部	科 目	金 額
		人件費	501,705
		経費	581,653
		徴収不能額等	814
教育活動支出計		1,084,174	
教育活動収支差額			30,062
教育活動外収支	事業活動収入の部	科 目	金 額
		教育活動外収入計	1,038
	事業活動支出の部	科 目	金 額
		教育活動外支出計	—
	教育活動外収支差額		
経常収支差額			31,100
特別収支	事業活動収入の部	科 目	金 額
		特別収入計	136
	事業活動支出の部	科 目	金 額
		特別支出計	862
特別収支差額			△726
基本金組入前当年度収支差額			30,374
基本金組入額合計			△69,867
当年度収支差額			△39,493
前年度繰越収支差額			△481,169
基本金取崩額			—
翌年度繰越収支差額			△520,662

貸借対照表(要約)

令和 7年 3月31日

(単位：千円)

資産の部	
科 目	金 額
固定資産	1,396,089
有形固定資産	1,392,127
土地	936,954
建物	382,771
その他	72,401
その他の固定資産	3,962
流動資産	1,386,859
現金預金	1,350,376
未収入金	23,231
その他	13,251
資産の部合計	2,782,949

負債の部	
科 目	金 額
固定負債	133,187
退職給与引当金	133,187
流動負債	430,078
未払金	85,580
前受金	283,972
その他	60,525
負債の部合計	563,265
純資産の部	
科 目	金 額
基本金	2,740,346
繰越収支差額	△520,662
純資産の部合計	2,219,683
負債及び純資産の部合計	2,782,949

財産目録

令和 7年 3月31日

(単位：千円)

科 目	金 額
資産額	
基本財産	1,392,127
土地	936,954
建物	382,771
その他	72,401
運用財産	1,390,821
現金預金	1,350,376
未収入金	23,231
その他	17,213
資産額合計	2,782,949
負債額	
固定負債	133,187
退職給与引当金	133,187
流動負債	430,078
未払金	85,580
前受金	283,972
その他	60,525
負債額合計	563,265
正味財産	2,219,683

令和7年5月21日

監査報告書

学校法人西鉄学園

理事会 御中

評議員会 御中

監事 馬場 宏明



監事 奥村 洋介



私たち監事は、学校法人西鉄学園の令和6年度（令和6年4月1日から令和7年3月31日まで）の業務及び財産の状況並びに理事の職務の執行の状況について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1. 監査方法の概要

理事会に出席したほか、理事等から業務執行の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するなど、本部および各学校において必要と思われる調査を実施しました。

また、計算書類等（財産目録、貸借対照表、収支計算書）および事業報告書に関する説明を受け、かつ必要と認められる方法を実施して、その正確性を検討しました。

2. 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記載し、計算書類等および事業報告書の記載と合致し、適法かつ正確に法人の収支状況および財政状況を示していると認めます。
- (2) 学校法人の業務または財産に関し、不正の行為または法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はありません。

以上